



ロータリーに活力を— あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

1988～89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー ●第256地区ガバナー 樫内悌三郎
- 会長—杉野 奎司 ●副会長—小林 英雄 ●幹事—長谷川有美
- SAA—榎本 勝、近藤 雄介 ●例会日—毎週水曜日 12:30～
- 例会場—三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局—三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)

- クラブ会報委員—伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉、渋谷 正一、小林 正義



出席会員数	会員 73名中 53名
先々週出席率	87.67% (前年同期 88.71%)
今日のお花	スターリングスター、アルストメリヤ
ヴィジター	三条南より 田中康雄君、丸田肇一君
先週のメイクアップ	5/24 新潟南へ 捧 賢一君 5/24 東京世田谷へ 堀川政雄君 5/26 吉田へ 外山一郎君 5/28 高田東へ 藤田説量君、野村竹三郎君、榎本 勝君、平原信行君 5/29 三条南へ 堀川政雄君、熊倉昌平君、近藤雄介君、加藤紋次郎君、広岡豊作君、外山雅也君 5/30 三条北へ 藤田説量君、斎藤弘文君、石橋育於君、岩井数央君、五十嵐晋三君、五十嵐総一君、五十嵐 力君、小林敬典君、藤田紘一君

会長挨拶 杉野会長

御挨拶を申し上げます。目に青葉の絶好の季節になりました。自然は四季折々姿を変える中にも緑の季節が一番よい様に思います。

消防団の人にも政治の光を太陽をと言いましたら、昨日、今日と真昼の火事で太陽の下に消火活動をいたしました。

一昨日5月29日は蒟蒻の日だったそうです。どうして蒟蒻の日だか分かりませんが、コンニャクは食べると腹の中の毒素を掃除して体によいといわれております。原産地はインド、ベトナムで、はじめは医薬品として入って来たものだと聞きます。食用として普及したのも平安の時代に禅林の精進料理からと言えますから古いものです。

政界は金権体質の太りすぎで動脈硬化症だと言われており、中曽根は離党を決意されたと報道されてますが、蒟蒻を一杯食べて腹の中の毒を出したらどうかと思います。

因みに蒟蒻の日本一の産地は、中曽根さんの選挙区の群馬三区です。

今日はこれで挨拶といたします。

幹事報告 長谷川幹事

○三条ライオンズクラブより 市内5クラブ合同親睦会のご案内がとどいております。

とき 6月14日(水) PM18:30~

ところ 美加月

会費 1名 6,000円

※ クラブより10名以上出席してもらいたい。

○樫内ガバナー事務所より ポリオプラスの4月末現在の状況報告書がとどいております。

6月のお祝い

◎会員誕生祝 6日 石橋育於君 6日 平原信行君 9日 佐久間洋一君
10日 杉野奎司君 16日 五十嵐寿一君 18日 高橋一夫君
21日 須田紀夫君 24日 捧賢一君
◎夫人誕生祝 26日 松川和子さん 27日 高森定子さん

ニコニコボックス ¥7,000

広瀬君 私どもBSN三条支局、今までの東三条から新しく市役所通りの今井歯科のとなりに越して来ました。近くになりましたのでお気軽に寄って下さい。

五十嵐(総)君 久しぶりのホームクラブ出席。

滝沢君 ソウル国際大会に参加し、大変お世話になりました。

鈴木君 ソウルの世界大会に出席させて頂きました。

1カ月振りのホームクラブ出席です。

杉野君 消防団の人にも陽の当たる様にと言いましたら、昨日、今日と真昼の火事となりました。

卓話 韓国雑感

渡辺宏策会員

先般、初めて世界大会に出席するためソウルに行きました。韓国旅行も初めてで、感じたことをお話しします。

まず世界大会開会式について申し上げます。大会の習慣的なプログラムなのかも知れませんが、RI会長の家族紹介及び記念撮影が時間をかけて有りました。私には奇異に感じました。RI会長の講演は名調子でしたが、日本語訳を聞かなかったので、プログラムの講演要旨と、バックの映画を見て推測しながら拝聴しました。講演のラストにはバックミュージックが入り



盛り上げて居ました。伴奏付きの講演は初めて聞きました。大会の講演にはなかなか良いと思いました。大会中早々に引き揚げる人達が目立ちました。我々も宿泊ホテルが遠いので、セレモニーが終わりアトラクションの途中で退席しました。三条での地区年次大会の時、途中退席者を出来るだけ少なくする為色々苦心したことを思い出しました。

次に韓国旅行について感じたことを二三お話しします。

- 1) 飛行機の搭乗時の検査が国際線・国内線共非常に厳しかった。
- 2) 看板や標識などの漢字ローマ字の使用が思ったより少ない。意識的にハングル文字の使用が勧められて居る。昨年のオリンピックの為か、ソウルでは若干見受けられた。
- 3) 朝鮮とゆう言葉はご法度で、その他言葉使いに注意が必要で、気軽に旅行が楽しめない。
- 4) 日本の侵略の爪痕が各所に見られ、語り継がれて居た。

季朝の宮殿の景福宮に行った時、印象的な事が有りました。一つは、日本の朝鮮総督府の建物が、季朝を隠蔽するごとくに、景福宮の真ん前に建てられて居た。しかも建物の中心に有るべきドームが、景福宮を完全に隠す為、歪んだ位置に建てられて居りました。日本の露骨な支配を感じました。又朝鮮戦争の折、ゲリラ(北鮮軍)が宮殿の裏にそそり立つ山の稜線を越え、銃を乱射しながら突撃して来たとのガイドの説明が有り、そのときの弾痕を修理した跡が有った。ソウルから北朝鮮との境界線まで僅か40kmたらずです。三条だと、新潟辺りに巨大な軍事力を持った相手が居ると言う厳しい現実を強く感じました。

明治後半からの日本支配、昭和20年の解放もつかの間、東西対立のはざままで国が二分さ

れ、し烈な朝鮮戦争を経て、未だ南北統一が困難な状況を思う時、我が国も敗戦時に分断の危機を回避出来たことは幸であったとしみじみ思いました。

その国を理解するには、その国の歴史を知ることが早道との事です。今回韓国人に因る朝鮮の歴史と言う本を読みましたので、お話してみます。著者は催南善と言う人で、昭和20年朝鮮が解放直後に書かれ、昨年翻訳されました。まだ南北二分の構造が現在のような形で固定されていない時で、南北の意識的な偏見も無く書かれて居るようです。

朝鮮の歴史にも、私共が戦前習った日本の歴史に似た神話が有ります。昔、天界の神様で桓雄（ハンウン）と言う方が人間達を治める為、人間に為って、風伯・雨師・雲師外3千人の部下を引き連れて太白山に下って来て神市を開いた。（現在の白頭山で天坪「天の原」と言う地名も現存する）神の力で一匹の熊が人間の女の身体をえた。桓雄とその女との間に男児が生まれ、檀君王儉（タンクンワンゴム）と名乗り朝鮮の国を造った。

都（ソウル）を王儉城（現在のピョンヤン）に定めた。

☆朝鮮とは初めて開明された所の意で、朝鮮は天の神様によって造られた国で神様に認められた特別の優秀な民族との自負が感じられ、私達が教えられた、天孫降臨や八紘一字と同じように思いました。

檀君王は神事と政事を分離し、政事を子供のケアジ（太陽の子孫の意）に任せた。ケアジ王朝は文化が開け農耕・養蚕が盛んで、社会秩序も良かった。たまたま中国方面より来た人々も、この良風美俗を見て感嘆し、次第に移住する者が多く為った。2150年位前、衛満（ウイマン）が中国で政治的経験を積んで来て登用された。衛満は中国流寓民をまとめ力を付け革命を起こし、ケアジ王朝を南に追い出して主権を握った。

檀君朝鮮・ケアジ朝鮮・衛満朝鮮を三朝鮮又は古朝鮮と言っている。

ケアジの最後の王は準（チュン）王と言い、南に追われて南方の韓（ハン）の地に渡り、馬韓（マハン）辰韓（チンハン）弁韓（カルハン）の三国を造った。後に変遷を経て三国は百済・新羅になり、衛満朝鮮は高句麗になり、その後高麗（コウリヤ）になった。

桓雄が天より下った太白山は現在の白頭山でなく、南の太白山だとの説も有る。主に南の人達（韓国）はその説を取っているようです。最近の新聞で読みましたが、南北統一の話し合いで、北朝鮮は高麗連邦民主共和制とうたい、南の韓国は韓民族共同体と称し、譲らぬようです。

体制の違い、東西陣営の立場の違いとともに、南北の長い歴史的背景も感じられます。古代朝鮮に付いてお話してみました。

次 週 例 会 6月7日 卓話 佐藤正嗣会員、五十嵐寿一会員

次々週例会 6月14日 クラブアッセンブリー
